

講師の皆様へ

スライドは、研修時にスライドノート共にご活用ください。

順番を入れ替えたり、追加をしたりするなどのアレンジは、実施する研修の受講者に合わせてご実施ください。

スライドノートの言葉は、話しやすい言葉や受講者に合わせて適宜アレンジしてください。

スライドノート内の「※」の記載は、講師の注意するポイントを記載しています。

【研修教材】

- 講師用…研修進行スライド（1日目・2日目）、研修ツール①（リーダー研修設計）
- 受講者用…ワークデータ（1日目グループワーク用）、ワークシート（2日目個人用）、研修ツール②（スキルアップ研修設計）、研修ツール③（計画立案チェックリスト（理解度チェック））、スキルアップ研修進行スライド（パート別）

【講師の事前準備】

- ・スキルアップ研修の受講
- ・産学連携推進リーダー研修の受講
- ・産学連携推進リーダーの講師用スライドの確認やアレンジ（リーダー研修時作成の計画にもとづいて）
- ・スキルアップ研修の教材確認及び分割等の準備
- ・実施環境に合わせた教材準備（ワークデータ（1日目グループワーク用）、ワークシート（2日目個人用）等）
- ・1日目の理解度チェックで確認した内容や疑問点とその回答など、後半の研修がより理解が深まるように準備しておく。



文部科学省 令和7年度

専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業

職業実践専門課程 産学連携推進のための

産学連携推進リーダー研修

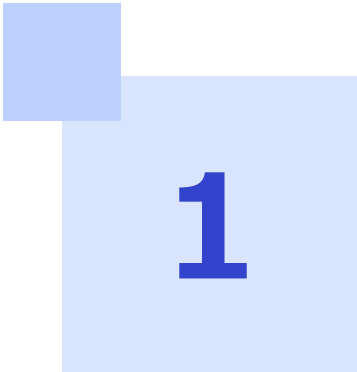
研修の目的

産学連携のためのスキルアップ研修

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、
その実現に必要な考え方や視点を得、
カリキュラムに実装する準備の機会とする



産学連携のためのスキルアップ研修の
受講者から実施者（指導者）へステップアップ



1

集合研修：前半

本日の学び（13：00－17：00）

0	自己紹介など
1	産学連携のためのスキルアップ研修ふりかえり
2	研修理解① 研修の全体設計
	研修理解② 各ワークのねらいと実施のポイント
3	研修のゴールの設定



産学連携を進めるために
みなさんは**どんな役割**を担いますか？

そのために**必要なこと**はなんですか？

A graphic consisting of two blue squares: a smaller one on top-left and a larger one below it to the right.

S1

スキルアップ研修ふりかえり

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準（企業連携）
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準共有＆相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり



スキルアップ研修ふりかえり

実際に受講してみて、どうでしたか？

**感想、疑問、良かった点、改善点…
グループで話してみましよう。**

スキルアップ研修ふりかえり



ワーク

ふりかえり

1 ワークシートにアクセス 付箋（個人） 5分

2 グループ共有・討議 15分

内容によってカテゴリに分けて
付箋を整理してみましょう。

あああああ

3 各グループ2分以内で全体共有

スキルアップ研修ふりかえり

講師の方へ

※全体共有時の講師ポイント※

ワークデータ（1日目グループワーク用）の画面を見ながら
発表を聞き、内容を整理して統一分類になるよう
コメントしてください。
分類（例）は次のスライドを参照してください。

スキルアップ研修ふりかえり

講師の方へ

分類例

講師のふるまい

→ **講師として必要な知識、
資質能力**

講座全体に対する理解

→ **講座内容理解**

ワークに対する理解

→ **ワーク内容理解**

評価に対する理解

→ **評価理解**

A graphic consisting of two blue squares: a smaller one on top-left and a larger one below it to the right.

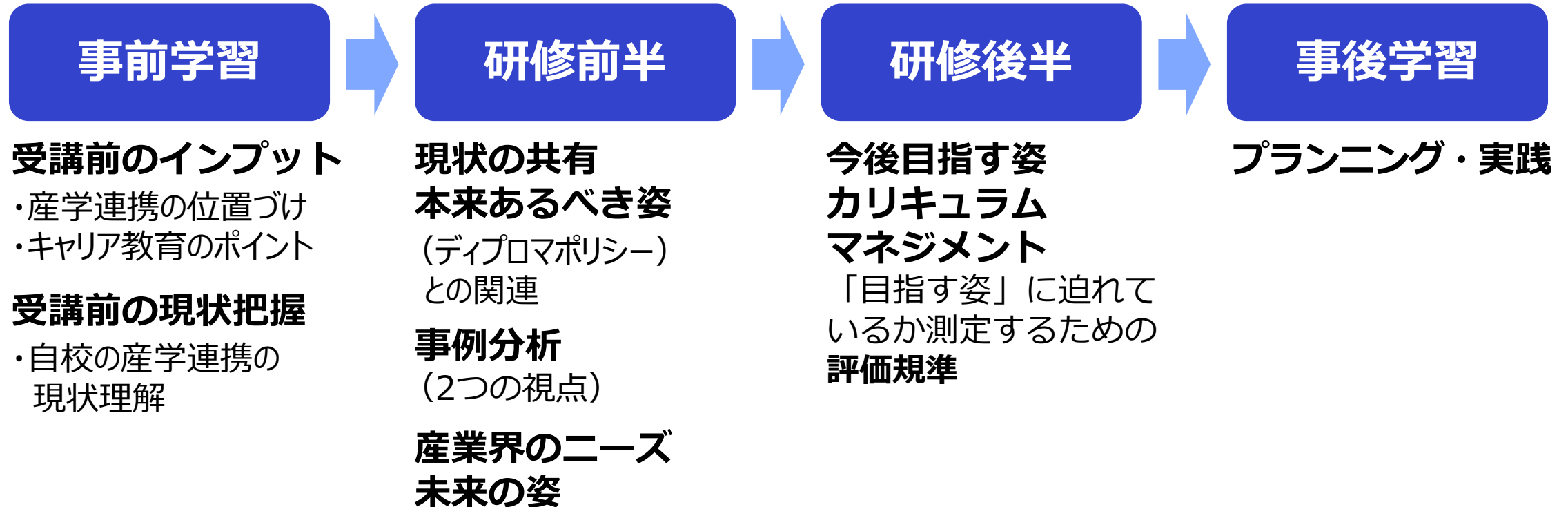
S2

研修理解①

研修の全体設計

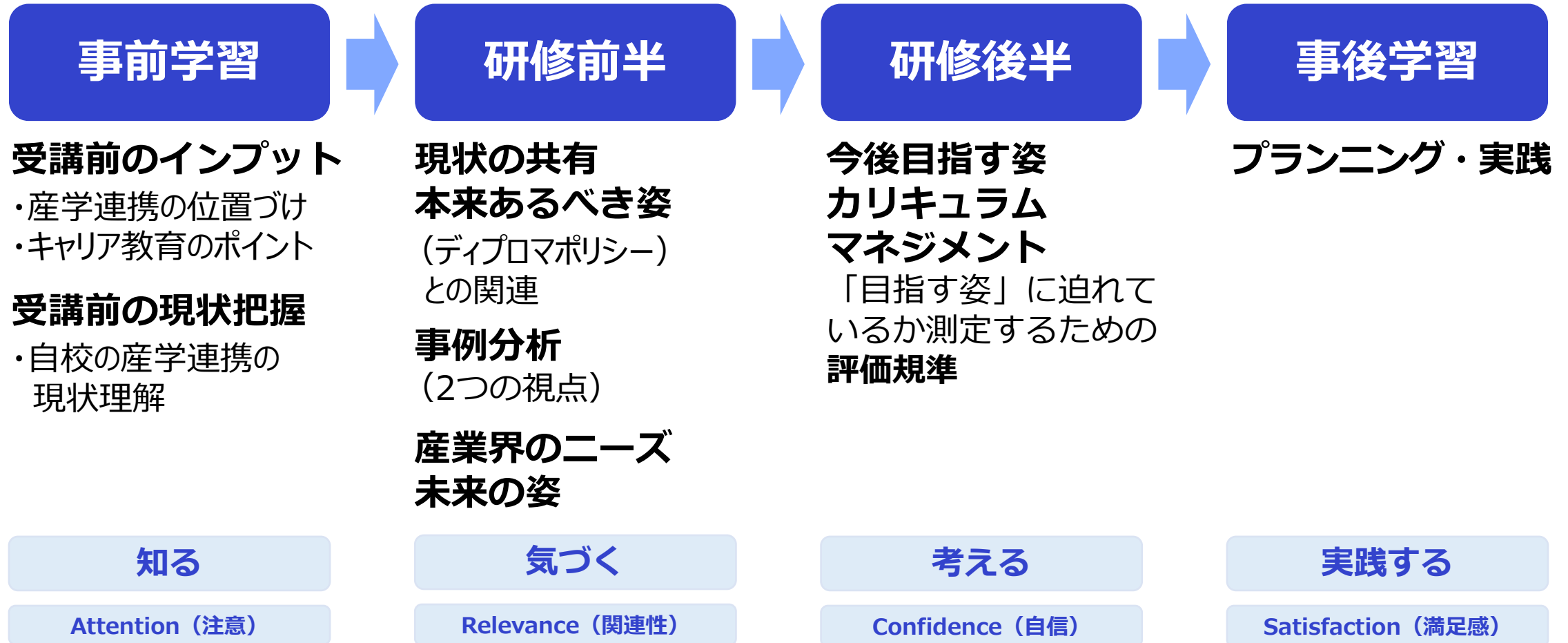
研修の全体構造

研修全体の設計を見て、気づいたことは何ですか？



研修の全体構造

研修全体の設計を見て、気づいたことは何ですか？



研修の全体設計



ワーク

研修の全体設計

1 グループ共有・討議 15分

全体を見て、**気づいたことやその理由**を共有しながら、**それぞれのパートの「ねらい」**を話し合ってみましょう。

2 発表・共有

講師として大切なこと

講座全体を俯瞰で捉え、全体の流れを理解したうえで最大限効果が出るよう実施する

講座の意図（伝えるべきこと）を理解し、伝えられるようにする

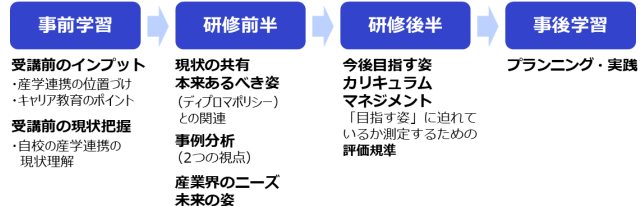
研修の目的

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、
その実現に必要な考え方や視点を得、
カリキュラムに実装する準備の機会とする

これからの社会で活躍できる人材育成のために
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート！

研修の全体構造

研修全体の設計を見て、気づいたことは何ですか？



産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準（企業連携）
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準共有&相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり

講師として大切なこと

全体のねらい、流れを理解したうえで、各ワークのねらいやポイントを理解し、ワーク、研修全体ねらいが達成されるよう実施する

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準（企業連携）
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準共有&相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり



S2

研修理解②

各ワークのねらいと 実施のポイント



各ワークについて理解する

各ワークの内容や進め方は
どのような「ねらい」が
あるのでしょうか？

ワークのねらいとポイント



ワーク

ワークのねらいとポイント

1 ワークシートと教材にアクセス

2 グループ共有・討議 15分

どのようなねらい（効果や学び）を想定していたか、そのねらいを引き出すために必要になる「**講師としてのポイント**」を話しましょう。

3 各グループ2分以内で全体共有

各ワークのねらいと実施のポイント

シナリオ分析ワーク…Aグループ
企業連携アップデート…Bグループ
効果測定のための評価規準…Cグループ

産学連携のためのスキルアップ研修

1日目

0	自己紹介と事前学習のふりかえり
1	【導入】ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点
3	【演習】シナリオ分析ワーク② カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】産業界ニーズを知る

2日目

0	1日目のふりかえり
1	【演習】これからの「企業との連携」 はどうあるべきか？
2	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準（企業連携）
3	【演習】自学科のカリキュラムマネジメント： 評価規準共有&相互FB
4	【演習】全体共有・学びのふりかえり

各ワークのねらいと実施のポイント

ワーク	ねらい	実施上のポイント/注意点
シナリオ分析 ワーク		
企業連携 アップデート		
効果測定のための 評価規準		

赤枠のワークについて考えていただく。
別資料（エクセル）の記載も合わせて確認してください。

シナリオ分析ワーク

わたしたちの・・・

- 意 ①キャリア教育視点の意識
能 付け・定着
「意志」確認をして、
受講目的を明確にし、
受講意識を高める

役割・・・

自学科のディプロマポリシーを読み解く

ワーク

- ②現状共有により、感情や
課題への共感、仲間意識の
向上、取組への意欲向上
- 1.
 - 2.
 3. 全体共有（1グループ2分）

- ③ディプロマポリシーへの
意識付け
「好事例」により事例提供
と自校の現状とのギャップ
や共通点の確認、課題への
意識付け

Work
sheet
2

視点

シナリオ（前半）を読み、
カリキュラムのポイントを分析しましょう。

- ④「好事例」による事例提
供と自校の現状とのギャッ
プや共通点の確認、課題へ
の意識付け、取組への意欲
向上

Work
sheet
2

シナリオ（後半）を読み、どのように
カリキュラムをアップデートできそうか、
どんなことができそうか・やってみたいか、
考えてみましょう。

↑例にする

企業連携アップデート

- ⑤「未来志向」で現状の枠
を超えて「やってみたい」
を考えることで、取組への
意欲向上と連携アップデー
トへの意識付け

Work
sheet
2

未来
今後「企業との連携」は、
どんなことにフォーカスをすべきでしょ
うか？
今後どんな可能性があるでしょうか？

効果測定のための評価規準

- ⑥学生の確かな成長につな
げるために不可欠であるこ
とを意識し、「指導と評価
の一体化」の意識付け
評価規準を自身で掘り下げ
ることで、「取組」への理
解を深め、焦点化する
ために、プログラムの評価規準を検討
しましょう。

Work
sheet
3

相互フィードバック

お互いの評価規準を交換し、

- 1 ディプロマポリシーから、どのように人材像、
重点
 - 2 「
について
してみ
- ⑦他者への説明、他者への
フィードバックによる気づ
きを得ることで、自身の考
えをブラッシュアップさせ
る。

課題に対する対応策

Work
sheet
1

項目	現在の実施内容	現在の課題感	総合評価	課題に対する対応策
企業との連携				
学校内体制				
学びの継続性				
資質能力の評価				

⑧課題を考え持ち帰ること
で、研修を受けて終わりに
せず、実践に確実ににつなげ
る。

意志【WILL】

能力【CAN】

具体的にいかせる知識、
つかえる技能、技術

役割【MUST】

果たすべき役割、
専門性にともなう責任、責務

お互いの評価規準を交換し、

- 1 ディプロマポリシーから、どのように人材像、重点育成資質能力の定義をしたのか**
- 2 「評価の観点」「評価計画」「評価手法」**

**について、意見交換、建設的フィードバックを
してみましょう**

課題に対する対応策

例

講師の方へ
この資料は「例示用」です。
必要に応じて活用してください。

プロマポリシー で育成をめざしてい る人材像	
集合研修 職業実践専門課程 で重点的に育成を めざしている資質 能力	
項目	現在の実施内容
企業との連携	
学校内体制	
学びの系統性	
資質能力の評価	

現在の課題感

集合研修 課題に対する対応案

ワークのねらいとポイント

講師の方へ

※全体共有時の講師ポイント※

ワークデータ（1日目グループワーク用）の画面を見ながら発表を聞き、実際に実施した講師の立場としてどうだったか、過不足があればフィードバックを行ってください。

否定ではなく、肯定を主として伝え、受講者のモチベーション維持につながります。

講師として大切なこと

各ワークのねらい（効果や学び）を理解（想定）し、それが達成できるようにするために何が必要か考えて実施する。

→ワークの解説書を確認してみましょう

まとめ

Where am I going?
(どこへ行くのか?)

How do I know when I get there?
(辿り着いたかどうかどうやって知るのか?)

How do I get there?
(どうやってそこへ行くのか?)

A graphic consisting of two blue squares: a smaller one on top-left and a larger one below it to the right.

S3

研修のゴールの設定

受講者に望む姿と講師のあるべき姿

スキルアップ研修を受講して、**講師は受講者にどのようなようになってほしい**のでしょうか？

また、そのような姿になってもらうために**講師はどうあるべき**で、それは**どのような資質能力**でしょうか？

セットで考えてみましょう。

受講者に望む姿と講師のあるべき姿



ワーク

受講者と講師の資質能力

1 ワークシートにアクセス 付箋（個人） 10分

2 グループ共有・討議 20分

「受講者にこうなってほしい、そのために講師にはこれが必要」という視点で自身の考えをグループで共有し、
「講師に求められる資質能力」を話し合ってみましょう。

3 各グループ2分以内で全体共有

受講者に望む姿と講師に必要なこと

受講者にのぞむ姿 Audience (A)	受講者に求める行動 Behavior(B)	どのように行動を引き出すか Condition (C)	講師に求められる 資質能力
視野を広くもてるようになってほしい	他者が新たな視点をもてるように、自身のもつ視点を伝える。 他者の意見を受け入れ、考える姿勢をもって発言する。	受講者の視野が狭くなっていると感じたときには声をかけ、視点を広げた声掛けをする。 「こうでなければならない」という声かけをせず、自由に意見が言えるような雰囲気にする。	●●●する力／○○力 ・洞察力 ・本質を見極める力 ・肯定 ・他者の意見をねらいに合わせて学びにする力
産学連携に対して積極的に楽しんで取り組んでほしい	産学連携を行うことで、学生や学びがどのように進化するか、進化の過程を想像する。 「やりたいこと」が何かを考え、実現のための手立てを考えるようにする。	積極的に楽しんで取り組んでいる受講者の一人の意見を全体で発表させるようにする。 楽しんでいる人たちの声を代弁できるように調査しておく。	・楽しむ力 ・情報収集力
未来志向で考えることができるようになってほしい	「こうなったらいいな」を基本に考えるようにする。	「未来」を具体的にイメージできるように伝える。 講師自身が具体的な「未来」のイメージをもち、言葉やスライドで伝えることができるようにしておく。	・情報整理・活用力 ・表現力 ・受講者に合わせて伝える力
たくさんの事例を知って、自分の活動に生かしてほしい	学科が違って、参考になる点はないか、自分の業務に生かせることはないかを常に考えながら多様な事例を聞く。	多様な事例を紹介できるように講師が下調べを行ったり、可能な限り実施者にヒアリングしたりする。	・情報収集・整理・活用力 ・学びにする力

受講者に望む姿と講師に必要なこと

受講者にとって必要なこと・身につけたいこと

- ・ 産学連携経験 ・ 意欲 ・ 幅広い視野 ・ 未来志向
- ・ つなぐ力 ・ 応用力 ・ 実現へのステップの想定力

講師にとって必要なこと

- ・ 受講者の意識を導く
- ・ 受講者の話をつなぎ、ねらいに落としこむ力
- ・ 産学連携事例やアイデア力、つなぐ力 など

講師に必要なことと自身の目標

講師としてあるべき姿と自身を照らし合わせて、**自分自身の強みと弱み**を考えてみましょう。

また、自分自身が講師としてどこに注力をして実施するのがよいか、**自身のねらい**を定めてみましょう。

自身にのぞむこと/必要なこと



ワーク

自分自身に必要なこと

1 ワークシートにアクセス 付箋（個人） 5分

明日の朝、今日のふりかえりとして
研修冒頭にシェアしましょう。

まとめ

 **リーダー研修の理解度チェック**



お疲れ様でした！